



※本紙の名前は、チューリップの花言葉の「博愛」「思いやり」から命名しました。

Human Rights News Paper Zentsuji

善通寺市市民生活部人権課

2019/12 発行



## 「高齢者は社会のベテラン」

NPO法人香川人権研究所

理事長 喜岡 淳 (きおかじゅん)

### ○高齢者の人権

65歳以上を高齢者と国連が定義したのは1956年。当時日本の平均寿命は男性64歳、女性68歳。今は男性81歳、女性87歳(「平成30年簡易生命表」)。65歳から高齢者と呼ぶことには「年齢で一律にとらえるべきでない」と違和感が強い。新しい「高齢者観」が求められている。

「高齢者の潜在能力は、将来の発展の強力な源泉である。社会は高齢者の技能、経験及び知恵を活用する」一国連第2回高齢化世界会議(スペイン、2002年)は高齢者を社会のベテランとする新しい高齢者観を宣言した。

高齢者は豊かな経験と人脈などを持った人材である。「高齢者雇用安定法」改正で定年が65歳に延び、定年制廃止の企業も増えるなど高齢者が能力発揮できる環境整備が進んでいる。仲善広域シルバー人材センターでも約1000人の会員が現役時代に培った能力や知識・経験を発揮して、社会貢献と生きがいを求めて活動している。

### ○声掛けなど 高齢者の安全を

内閣府の調査では、高齢者の人権問題として「特殊詐欺の被害が多い」がトップに挙げられた(「平成29年度人権擁護世論調査」)。県内では、「あなたの未納金が裁判になった」と弁護士を名乗る男が女性(79歳)から200万円を裁判費用だと詐取する事件が起きた。他にも「老人ホームの入所約束を破棄した損害を償え」と弁護士を名乗る男が一人暮らしの女性(84歳)から賠償金だと1930万円を詐取する事件も起きている。儲け話、還付金、災害募金など高齢者を狙った電話詐欺が後を絶たない。決して「自分は大丈夫」と過信せず、相手が弁護士や公的機関と名乗ってもお金の話は家族や市役所に相談する、お金の電話がないか家族で話題にするなど、高齢者の安全に配慮しよう。家庭や地域でも高齢者に声掛けするなど、高齢者を孤立させないようにしよう。

### ○高齢者のことを理解しよう

高齢者特有の身体機能や認知症のことを知らないために高齢者虐待につながっているケースがある。善通寺市社会福祉協議会では高齢者疑似体験キットを無料で貸出し、高齢者特有の白内障や視野狭窄、老人性難聴、筋力低下などを体験し、高齢者に対して思いやりのある接し方を啓発している。また、地域包括センターでは認知症への理解を深める講座等も開催している。

### ■基本的人権とは 生命・自由・幸福追求の権利

憲法第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

## じんけんフェア2019inぜんつうじ 人権標語作品展優秀作品

- 最優秀賞 「育てよう 相手の心を 知る気持ち」 筆岡小学校 5年 三鍋 優卯
- 優秀賞 「託された 差別偏見 負の歴史 風化させるな つなげ社会へ」 西中学校 2年 清水 優菜
- 優秀賞 「どうしたの 気づける心 大切に」 西部小学校 4年 藤原 絢星

アンネ・フランクのバラ



- ※1 第二次世界大戦で行われたユダヤ人の大量虐殺のこと。
- ※2 戦時の生活を綴ったアンネの日記を書いた少女、ホロコーストの犠牲となった。
- ※3 アンネを偲んで作られた新種のバラ

善通寺市人権課 中山 千佳

今回のツアーは、二〇一八年が「世界人権宣言七〇周年」にあたることから、「平和と人権」をテーマに福山市を訪れました。まず、最初に訪れた「ホロコースト記念館」では、ホロコースト(※1)の犠牲となった一五〇万人の子どもの姿を通して、ホロコーストの事実、本当の平和について学びました。次に訪れた「福山市役所」では、福山市の人権尊重社会の実現を目指した様々な取組みについての説明を受けました。二日目に訪れた「福山市人権平和資料館」では、「平和と人権」の資料から、その大切さを学ぶことができました。また、重度の知的障害者二百人を正規雇用し、食品用トレーをリサイクル製造している「エフピコ福山リサイクル工場」では、工場見学の後、担当者との質疑応答を行い、障害者雇用の推進について理解を深めました。

この二日間は、知らないことばかりで驚くことが多かったのですが、実際に自分が現地で見聞きしたこと、今後自分が何を考え、どうあるべきかを色々と考えることができた、とても充実した研修となりました。

なお、後日、「ホロコースト記念館」から、アンネ・フランク(※2)のバラ(※3)の贈呈を受けました。大きく成長したら、市民の皆様にご覧頂き、平和の尊さを感じていただけたらと思います。

二〇一八年度人権研修ツアーに参加して

部落差別をなくし人権を擁護する条例

(善通寺市条例第26号)

(目的)

第1条 この条例は、すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法及びすべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等であるとした世界人権宣言(1948年12月10日)並びに同対策審議会答申(昭和40年8月11日政府へ答申)の精神に基づいて部落差別をなくし、人権意識の高揚を図り、明るい地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(市の責務)

第2条 市は、前条の目的を達成するため、行政の各分野で市民の人権意識の高揚に努めるとともに、必要な施策を推進するものとする。

(市民の責務)

第3条 市民は、相互に基本的人権を尊重し、自らも人権意識の高揚に努めるとともに、部落差別をなくし、人権に関する施策に協力するものとする。

(市の施策等)

第4条 市は、部落差別をなくし、人権を擁護するため、国、県及び関係団体と連携を図り、施策を効果的に推進するものとする。

(調査等)

第5条 市は、前条の施策の策定及び推進にあたっては、必要に応じ調査等を行うものとする。

附 則

この条例は、平成7年10月1日から施行する。

**※条例を守り、人権尊重社会を実現しましょう。**

ワーク・ライフバランスとは・・・

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)は、男女共同参画社会を実現する上で大変重要な考えです。特に、忙しい日々の生活の中で、ほっと一息つける食事の時間を充実させることはとても大切です。

そこで、今回は、地元の食材を使って、簡単で美味しいレシピを「善通寺市男女共同参画セミナー」講師の池内靖子先生にご指導いただきました。これまで料理をしなかった方も、どしどしチャレンジしてください。



ダイシもち麦のきのこごはん

【材 料】(4人分)

- 【米】…2合 【ダイシもち麦】…大さじ2
- 【生しいたけ・マッシュルーム・しめじ・えのきたけ】…各適量
- 【鶏肉】…200g 【だし汁】…100ml 【しょうゆ】…大さじ2
- 【みりん】…30g 【塩】…少々 【酒】…大さじ2
- 【砂糖】…小さじ1 【柚子の皮の千切り】

【作り方】

- ①米、ダイシもち麦は洗ってざるに取り、水気を切る。
- ②しいたけとマッシュルームは石づきを取って薄切りにする。しめじとえのきは根元の部分を取り、ほぐしておく。
- ③鍋にだし汁、みりん、しょうゆを合わせ、②を加えて強火でさっと煮て、鶏肉を加えてほぐしながら火を通して煮汁と分けておく。
- ④取り分けておいたきのこの煮汁にだしを足して、①に加え、水加減して30分以上浸し、吸水させておき、普通に炊く。
- ⑤火を止めたらすぐにきのこを入れ、蓋をして約10分蒸らす。
- ⑥茶碗によそおい、上から柚子をふりかける。

キウイゼリー

【材 料】(6人分)

- 牛乳かん 【寒天】…1/2本 【砂糖】…75~90g 【水】…1カップ
- 【牛乳】…25~30cc
- キウイ寒天 【寒天】…1/2本 【水】…300cc
- 【砂糖】…40g 【キウイ】…1個

【作り方】

- ①(牛乳かん)寒天はきれいに洗って小さくちぎり、分量の水にしばらく浸す。
- ②①を火にかけ、寒天が溶けたら砂糖を入れ、中火にしてさらに混ぜる。
- ③牛乳を入れてよくかき混ぜ、火をとめる。
- ④流し箱を水でしめらせ③を流し入れて固める。
- ⑤(キウイ寒天)キウイは皮をむき、輪切りにし、固まった④に乗せる。
- ⑥寒天を小さくちぎり、分量の水にしばらく浸す。
- ⑦⑤を火にかけ、寒天が溶けたら砂糖を入れ、中火にして混ぜる。
- ⑧粗熱をとり、③に入れて冷やし固める。